TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法 -

神の福音　ローマの信徒への手紙　一　1 章　1-7 節

2026 年 5 月 9 日 & 10日
余沢　武　牧師

Ⅰ. はじめに

こんにちは。母の日おめでとうございます！
今日は母の日を祝う週末です。母親という存在は、私たち全てを含む子供を愛してくれます。それは犠牲的な愛です。ただただ愛し、与え続けてくれる存在です。神様も、親を敬うよう命じられています。母親であられる方は、その場にお立ちください。お母様方のために共にお祈りしましょう。

今日は母の日のお祝いとして、すべてのお母様方にスターバックスのギフトカードをプレゼントいたします。礼拝後、ぜひ「母の日特設ブース」にお立ち寄りいただき、カードをお受け取りください。

今日から、ローマの信徒への手紙に基づく新しいメッセージシリーズ、「これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法 -」を始めます。ローマの信徒への手紙は、著者は使徒パウロで、テルティオという書記の助けを借りて執筆されました。

執筆は紀元 55-58 年頃、コリントにて、パウロがエフェソから「コリントの信徒への手紙」を書いた後、エルサレムの教会への献金を集めるために再びコリントに戻った際に書かれました。
ローマの信徒たちを教え導き、あわせて自身のローマとイスパニア訪問の計画を伝えるために書かれました。
「使徒言行録」第 2 章によれば、五旬祭の日にエルサレムで三千人がイエスを信じた際、そこにはローマから来たユダヤ人や異邦人の改宗者たちもいました。その中で信じ、ローマに戻って教会を始めた人達がいたと考えられています。

しかしその後、皇帝クラウディウスがローマから（「使徒言行録」18 章にある）アキラとプリスキラなどのユダヤ人を追放した際、異邦人のキリスト信徒たちが教会内で力を持つようになったようです。そしてユダヤ人のキリスト信徒たちがローマに戻ってきた時、彼らは異邦人信徒によって脇に追いやられることになったのです。パウロがこの手紙を書いたのには、神の救いの計画におけるユダヤ人の役割を彼らに改めて思い起こさせるという目的もありました。

「ローマの信徒への手紙」は、驚くべき書簡です。
4 世紀にアウグスティヌスは、この手紙を読んだことで救いへと導かれました。
16 世紀に宗教改革者マルチン・ルターは、ローマ書を読むことで福音を理解しました。彼はこの書を「新約聖書の主要な部分であり、最も純粋な福音である」と呼んでいます。
ジャン・カルヴァンはかつて「もし私たちがこの手紙を理解するなら、聖書全体を理解するための道が開かれる」と言いました。私達もそうでありますように。
ではまず祈りましょう。

II. 神の福音

(1)僕(しもべ)

それでは、**ローマの信徒への手紙 1 章 1 節**を開きましょう。このように始まっています。
「キリスト・イエスの僕、神の福音のために選び出され、召されて使徒となったパウロから、」ここで「僕(しもべ)」と訳されている言葉は、ギリシア語で「奴隷」を意味する言葉です。

パウロはこの手紙を書き始めるにあたって、まず自分をイエスの「奴隷」だと紹介しました。パウロは、自分自身が全く取るに足りない存在であったことを知ってほしかったのです。しかし、無理やり従わされる多くの奴隷とは違い、パウロは旧約聖書に記されているような、自らの意志で仕える奴隷でした。

旧約聖書の律法によれば、ユダヤ人がユダヤ人の奴隷を所有できるのは 6 年間だけと決まっていました。7 年目には、その人を自由にしなければなりませんでした。しかし、その奴隷が「私は主人を愛しています。ずっとこのまま奴隷として主人に仕えたいです」と言うこともできました。

その場合、主人はその奴隷を裁判官のもとへ連れて行き、さらに戸口か柱のところへ連れて行って、錐(きり)で彼の耳を刺し通します。これは、その奴隷が生涯、主人に仕えることを示す印でした。言うまでもなく、奴隷がこのような選択をするのは、自分の主人が公正で慈しみ深く、その人のすべての必要を満たし、より良い人生を与えてくれると確信している場合に限られます。ある意味、私達にも同じ二つの選択肢があります。

一つは、自分自身の利益のために生きることです。自分の欲望や所有物、野心を追い求めて生きる道です。もう一つは、イエスの奴隷として、ただ主に仕えるために生きる道です。主は公正で慈しみ深く、私達の必

要をすべて満たし、最高の人生を与えてくださると信頼して歩む道です。この二つは、全く異なる生き方です。どちらの道を歩みたいと願われるでしょうか。パウロは「何よりもまず、私はイエスの奴隷なのです」と宣言しているのです。

(2)使徒

パウロ自身は、主の前では取るに足りない一人の奴隷にすぎませんでしたが、その教えや書き記した言葉は決してそうではありません。
なぜなら……彼はイエスの使徒だからです。使徒であるということは、主イエスを親しく目撃した証人であり、イエスによって遣わされ、イエスの権威をもって主の教えを伝える者であることを意味しています。

郵便配達人から友人の手紙が届いたら、私達はその手紙を郵便配達人からのものとして読みません。友人の言葉として読みます。それと同じように、使徒パウロがこの手紙を書きましたが、私達はそれをパウロの言葉として読むべきではありません。私達は、これを主イエスの言葉として読むべきなのです。

それだけではなく、イエスの使徒であるパウロは、ただ一つのことを伝えるために選び出されました。それは、「神の福音」です。

私が大学院生だった頃、あるウイルスの DNA を研究する研究室で働いていました。私がいた研究室はアメリカ農務省(U.S.D.A.)の管轄だったため、多額の研究資金を得ていました。
当時は、科学界が「ヒトゲノム計画」と呼ばれるプロジェクトに熱狂していた時でした。レーザーを搭載した自動 DNA シーケンサーという新技術が登場したことで、ついに一人の人間が持つ完全な DNA の構造を解明できるようになったからです。

当時のアメリカの東海岸で、この最新鋭の DNA シーケンサーを備えていたのはわずか 2 ヶ所だけでした。一つはニューヨークにある大学、そしてもう一つが、私達の研究室で二番目の購入先でした。 ある日、その機械が届きました。私達はとても興奮しました。
しかし問題は、誰もその操作方法を知らなかったことです。

メーカーの担当者がある日、私達をトレーニングしに来てくれるまではそうでした。そのトレーニングが、すべてを劇的に変えました。私達の手元に機械はありましたが、担当者からの指導を受ける必要があったのです。その後、それは私達が行うすべての活動の中心となりました。

パウロはその担当者のような存在でした。ローマのクリスチャン達はイエスを信じ、福音を手にしていました。しかし、それがどのように自分の人生を変えるのかを知りませんでした。そこでイエスは、その人達を指導するために、一人の使徒、いわば担当者を遣わされたのです。この手紙こそがその指導そのものであり、すなわち「神の福音」の指導書なのです。

(3)神の福音

2 節-4 節 「2 この福音は、神が既に聖書の中で預言者を通して約束されたもので、3 御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、4 聖なる霊によれば、死者の中からの復活によって力ある神の子と定められたのです。この方が、わたしたちの主イエス・キリストです。」

この神の福音は、決して新しいものではありません。何千年も前に、聖書の中ですでに約束されていたことでした。神はアブラムに、**「地上の氏族はすべて、あなたによって祝福に入る」**と言われました**(創世記 12 章 3 節)**

また神はダビデには、こう言われました。
「あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。……わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。」(「サムエル記下」7 章 12 節-14 節 a)

何千年も前から神は、ダビデの子孫を通して、「神の子」と呼ばれる方が来られることを約束しておられました。そして、その方を通して地上のすべての民族が祝福されます。

パウロはこう語っています。
「(神の御子イエスは、)肉によればダビデの子孫から生まれ、聖なる霊によれば、死者の中からの復活によって力ある神の子と定められたのです。」

こうして神の御子イエスは、ダビデの子孫として、人間の肉体をもって来られました。私達の罪のために十字架で死なれた後、聖なる霊(聖霊)が主を死者の中から復活させ、私達に「永遠の命」と「罪のない愛に満ちた性質」を与えることができる、力ある神の御子、救い主なる王としてその王座につけられたのです。

5 節-7 節「5 わたしたちはこの方により、その御名を広めてすべての異邦人を信仰による従順へと導くために、恵みを受けて使徒とされました。6 この異邦人の中に、イエス・キリストのものとなるように召されたあなたがたもいるのです。7 神に愛され、召されて聖なる者となったローマの人たち一同へ。わ

たしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。」
使徒として、彼の使命はすべての異邦人を信仰によって従順へと導くことでした。

つまりこれは私達が神の福音を信じ、従うのを助けるためなのです。
自分が罪人であることを認め、イエスの死を自分の罪に対する罰として受け入れ主の赦しを受け、あらゆることにおいて神と神の御言葉を信頼し、従うことが出来るよう、主の助けをいただくことによってです。

私達の生き方は、私達が何を信じているかを現しているだけだということにお気づきでしょうか。
例えば、私はマクドナルドが好きです。以前はよくマクドナルドのハンバーガーを食べていました。

しかし、今はめったに食べません。なぜでしょうか。ファストフードの食べ過ぎは体に良くないと聞き、それを信じたからです。でももし逆に、それが実は体に良いものだと信じていたならどうでしょう。健康のためにいつも食べるでしょう。このように私達の行動は、私達が信じていることを単純に反映しているのです。

エデンの園で神はアダムとエバに、禁じられた実を食べてはならない、食べれば死ぬことになると言われました。 しかし、彼らは背いてそれを食べてしまいました。
なぜでしょうか。神は嘘をついており、その実を食べれば知恵が得られ、より良い人生が手に入ると聞き、それを信じてしまったからです。
もし彼らが、神は愛であり、真実であり、自分達にとって最善を望んでおられると信じていたなら、神に従っていたはずです。私たちの行動は、単に私たちが信じていたことの現れなのです。

パウロの使命は、次のようなことが起こるために神の福音を私達に伝えることでした。それは、私達が「神は愛であり、真実であり、常に私達にとって最善を望んでおられる」と言うようになるためです。私達が次のように言うためです。

神は本当に私達を愛し、御子イエスを私達の罪のために十字架で死なせてくださった。
神は真実な方であり、私達がイエスの死を自分達の罪の罰として受け入れるとき、私達は本当に赦される。
もし私達が神の言われるすべてのことを信頼して従うなら、神は本当に最善のものを与えてくださる。

アダムとエバが、神は愛であり、真実であり、常に自分達にとって最善を望んでおられると信じていたなら、一体どうなっていたか想像したことがありますか。
2人は何があっても、神の言葉に従いたいと願ったはずです。
蛇が彼らを誘惑した時に、2 人はこう言ったでしょう。「いいえ、私は神を信頼し、神に従います」

2人は「最も愛に溢れた結婚生活」を送り、満ち足りた思いと感謝、そして愛に溢れた生活を送っていたでしょう。
2人はひたすら忠実に神に仕え、自分達のすべての必要については、ただ神に信頼して生きていたはずなのです。

それと同じように、もし私達が、神は愛であり、真実であり、常に私達にとって最善を望んでおられると本当に信じているなら、私達もまた、何があっても神の言葉に従いたいと願うはずです。

サタンが私達を誘惑するとき、私達はこう言うでしょう。「いいえ、私は神を信頼し、神に従います」
私達は、配偶者、両親、子供達、友人や同僚と最高の関係を築くことが出来るでしょう。それは満ち足りた思いと感謝と愛に溢れたものなのです。
私達はただ神に仕え、仕事に取り組み、自分達のすべての必要については、神の備えに信頼して生きていくようになるのです。

これがパウロの使命でした。「神の福音」を通して、「すべての異邦人を信仰による従順へと導くため」に彼は労していました。 私達が、神が愛であり、真実であり、常に私達にとって最善を望んでおられることを信じます。 私たちの人生は信じていることを反映しているのです。神に従うことで私たちの人生は一変するのです。

これこそが、ローマの信徒への手紙が伝えようとしていることです。これからしばらくの間、この神の福音がどのように私達の人生を完全に変えることができるのか、共に見ていきましょう。

もし今、あなたがイエスを信じておらず、そのことが人生に反映されていると感じているなら、ぜひ神様に「私を変えてください」と求めてみてください。そして、イエスがあなたに与えるために来られた新しい人生を歩み始めてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg1926jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 101
教会員になるためのクラス
5 月 17(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 402
キリストの伝え方
5 月31(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

全クラス申し込み:
https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中！

急募！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半～2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

3.日本語字幕オペレーター

9 時の礼拝の字幕オペレーターの募集です。
英語を聞いて日本語のページを矢印キーを押して進めるだけの簡単な作業です。
月1，2回。可能な日を月末に調整します。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org